

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになるろ

2018～2019年度

国際ロータリー会長 バリー・ラシン
2560地区ガバナー 川瀬 康裕
高田ロータリー会長 牧野 章一
幹事 佐藤 教彦

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

第9回例会 ■ 9月7日(金)

No.9

会長挨拶 ● 牧野 章一



皆さまこんにちは。
9月に入りました。
昨日、北海道南西部の胆振（いぶり）地方を震源とする震度7の地震がありました。平成30年北海道胆振（いぶり）東部地震です。お亡くなりになった方へご冥福をお祈りし、被災された方へお見舞い申し上げます。

1週間の間「災害がない」はまれな事と思わずにはられません。災害列島日本です。奉仕の心が支える日本です。

9月は、「基本的教育と識字率向上」そして「ロータリーの友」月間です。

私たちにとって読み書きができることは、特別なことではありませんが、世界の非識字人口は7億8,100万人、世界の成人人口の15%、その3分の2近くが女性となっています。

ロータリー会員による、基本的教育と識字率向上活動の一部を紹介します。アフガニスタンでは貧困の連鎖を断ち切り、教育の不平等をなくすため女子学校をつくりました。米国デトロイトでは、成人の半数以上が十分な識字力を持たないといわれています。成人への個人指導を行う講師を募集し、研修を実施しました。など等があります。

ここで少し気になる話があります。LineやFacebookは読めるが、新聞は理解できない「機能的非識字」が中学校3年生の15%（全国調査）が陥っているという話です。気になります。

今日は、米山記念奨学生 チョルンバートル・テムレン君の卓話です。宜しくお祈りいたします。

出席報告

出席率 100%

ビジター

佐藤明臣君（新井 RC 米山記念奨学生カウンセラー）

メイクアップ

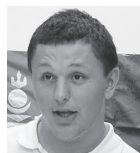
石田誠夫君（9/1 米山奨学委員長セミナー）

ニコニコBOX紹介

大谷光夫君——9月3・4日とガバナーエレクト研修を受けて来ました。全体会3回、分科会9回とハードな研修でした。これでノミニーから正式にエレクトになりました。あらためてご支援ご協力お願いします。

委員会報告

親睦委員会——9月会員お誕生日 各お祝い



国際奉仕委員会——2019-2020年度長期交換学生募集について・ジョン君近況報告

職業奉仕委員会——9/14 職場訪問（岩の原葡萄園）について

ロータリー財団委員会——寄付のお願い

会員インフォメーション

宮川大樹君——9/9 かぼちゃ祭りのご案内

神田和明君——9/9 川上善兵衛生誕150年記念トークセッション・9/29-30 2018 岩の原葡萄園秋の収穫祭 各ご案内

幹事報告

配布物：週報No.8・ロータリーの友9月号
回覧：ガバナー月信9月号・2019-2020年度長期交換学生募集について

報告：9/8IMゴルフ大会について
H30年7月豪雨災害義捐金報告
合計 97,000円
(8/24 88,000円 8/31 9,000円)

卓話 モンゴルについて

米山記念奨学生 チョルンバートル・テムーレン 君



みなさん、こんにちは。モンゴルのウランバートル市から来ました。現在、新潟産業大学の4年生です。モンゴルといえば皆さん最初に思いつくのは遊牧民や草原かと思います。それ以外にも魅了的なものはたくさんあります。最近、モンゴルは都市近代化が進んでおり、遊牧民・草原というイメージが変わってきています。今日はモンゴルについて皆さんの知らないことを伝えられたらうれしいです。

モンゴルの地図

チンギスハーンは1206年にモンゴル帝国を建国しました。その時から今までずっと遊牧の暮らしをしていました。でも、最近は定住スタイルに変わってきています。面積は156万6,500km²、世界で19位に並んでいます。近年、国土の90%で砂漠化が激しく進んでいます。そのため、湖や川などが消えてきています。人口は約308万人、世界で136位です。首都ウランバートル市の人口は約131万人、モンゴルの人口の半分を占め、世界的に見ても都市への人口集中が高い国です。

モンゴルの国旗

赤は火、青は空を表し、いつも青空の下に火のように明るく生きるという意味があります。ソヨンボ文字—1686年に僧侶ボグド・ザナバザルが作成した文字です。

ゲル

遊牧民が飼っている家畜は馬、ラクダ、山羊、牛の5種類があり、このいずれかを飼っています。遊牧民は飼っている家畜に美味しい(栄養)草を食べさせるためにゲルを組立式にし、その草を求め馬車やラクダに乗せて移動します。ゲルは丸い形をしており、ドアは必ず南側に向けて建てます。ゲルには窓がないため、ドアを南側に向けることで一日中太陽の光をゲル内に取り入れることができます。

モンゴル相撲

モンゴル相撲は日本の相撲と違って広い場所のみ

んなと一緒に試合をするので時間がかかります。そこで自分の好きなお相撲さんを見ながら1日中楽しめます。一番人気があるのは毎年7月11日に開催されるモンゴル相撲祭りです。全国から約320人のお相撲さんが集まり、1回戦から8回戦まで2日かけて試合を行います。モンゴル相撲は手を付けても負けにならず、相手の膝、肘、背中を地面に付けるまで続けるため、戦いみたいになります。日本の相撲は1年で6場所ありますが、モンゴル相撲の大会は1年に1回しかないため、負けると1年間非常に悔しい思いをします。

民族衣装デール

デールは遊牧民が日常生活で着用しており乗馬のときに足が開き、乗馬しやすくなっています。冬は中に毛皮を合わせ、春秋は綿を合わせ、夏は薄い生地で作っています。遊牧民は1年中デールを着ています。シルクで作ったデールはお正月、入学式、卒業式、結婚式等の特別なときに着ます。デールを着るとき男性は帯を太く巻いて男らしく見せます。モンゴルの男性は、帯や帽子に勇気や運が宿っているとされているため、絶対に床に置いたり、踏んだりせずにごく大切にします。

「認知症」研修

上越よみうりに掲載

高田ロータリークラブが「認知症」研修の一環として開いた8月24日の例会(プログラム)の様子が、上越よみうり(8月27日号)で紹介されました。

当日は社会福祉士清澤明さんが成年後見人制度について解説。『申立人の数が増加していることから、支援を行う後見人が足りない現状を訴え、国家資格のいない市民後見人を進めるべきだ』と、ユーモアを交えながら制度への理解を求めたことを報道していました。